

みずのき美術館



福村惣太夫展
掘るように描く



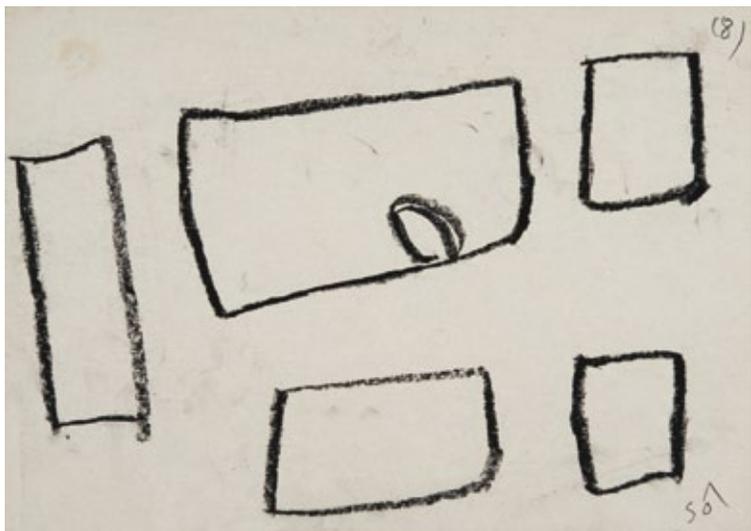
2019

9.7 SAT

|

12.8 SUN

「無題」 116.6×91.0 cm 制作1990頃



「造形テスト課題8」 25.3×36.0 cm 制作1980

福村 惣太夫 (ふくむら・そうだゆう / Soudayu FUKUMURA)

1936年生まれ

絵画教室の設立当初からのメンバー。福村がこれまで制作した900余点に及ぶ作品は、具体的にモチーフを描き表さない抽象絵画に見えるが、言葉を持たない本人とのジェスチャーを交えたコミュニケーションから察すると、当時作業に出かけていた田畑やその周りの特定の光景などを俯瞰的に描いたものが多いのではないかと考えられている。

関連企画

ギャラリートーク

日時 | 9.14 SAT, 10.26 SAT, 11.23 SAT, 12.7 SAT
14:00-16:00

定員 | 30名

料金 | 無料・申込不要 (入館料別途)

進行 | 奥山理子 (みずのき美術館キュレーター)

連携企画

「福村惣太夫 2018年の仕事」

会期 | 2019.9.17 TUE-10.19 SAT 会期中無休

開館時間 | 月-土 9:00-18:00

日・祝 9:00-17:00

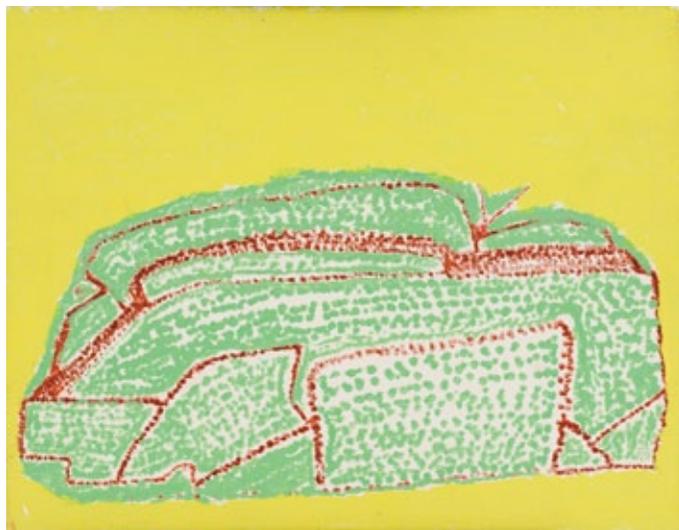
観覧料金 | 無料

会場 | 甲南大学ギャラリー・パンセ

(甲南大学5号館1階)

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

www.konan-u.ac.jp/faculty/letters/pensee/



「無題」 31.8×41.0 cm 制作1980-1984

アトリエでの福村惣太夫は、パステルで粉だらけになった指先は気にもかけず、あたかもこれ以上大事な仕事はない、とでもいうかのように丹念に色彩を交えて画面を構成していく。

畑に向かう日の彼は、小さな鍬を手にし、迷いなく土を耕し、ならし、毎回見事な畝を完成させた。紙やキャンバスと、畑をフィールドとして、彼が積み重ねてきた造形活動の歳月は半世紀を越えた。

その福村の作品を読み解こうとする際、従来の絵画の概念や常識がどうも役に立ちそうにない。私たちの知るそれとは全く異なる、彼だけが見ることのできる造形の世界があるのだとしたら—
迫らないわけにいかない。

福村 惣太夫展 —掘るように描く—

2019.9.7 SAT - 12.8 SUN

休館日 | 月・火曜日 (祝日の場合は開館)

開館時間 | 10:00-18:00 (入館は閉館30分前まで)

入場料 | 一般 400円 / 高大生 200円 / 中学生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方 (付添者は原則1名まで) は無料

会場 | みずのき美術館

Mizunoki Museum

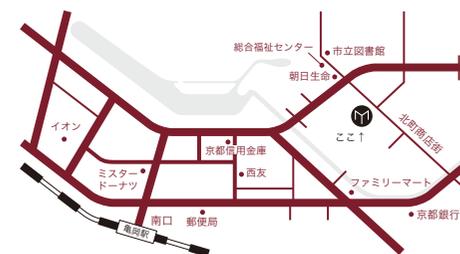
〒621-0861 京都府亀岡市北町18

www.mizunoki-museum.org



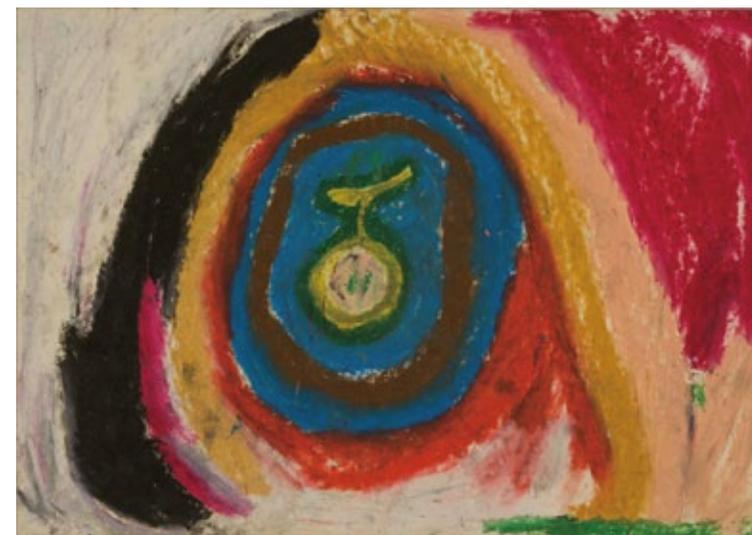
お問合せ | 0771-20-1888

info@mizunoki-museum.org



JR嵯峨野山陰線「亀岡駅」南口より徒歩8分
(JR京都駅~亀岡駅 快速/20分)

美術館に駐車場はございません



「植物の写生」 38.0×54.1 cm 制作1974

主催 きょうと障害者文化芸術推進機構 (京都府)
社会福祉法人松花苑みずのき美術館

協力 高橋耕平